大山田給食センター 電気及び機械設備改修工事

				大山田給食†	 センター電気及び	 機械設備改修	工事 図面リスト				
	建築意匠図面		電気設備図面				機械設備図面				
NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	D R A WIN G	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	N U M B E R	DRAWING	SCALE
A - 1	改修工事 特記仕様書	_	E - 1	電気設備特記仕様書	_	M - 1	機械設備 特記仕様書	_			
A - 2	改修工事 特記仕様書	_	E - 2	電気設備 配置図	1:200	M - 2	凡例·器具表·機器表·空調平面図	1:100			
A - 3	改修工事 特記仕様書	_	E - 3	電気設備 高圧受変電単線結線図	_	M - 3	平面図(改修後) 給排水衛生設備	1:100			
A - 4	改修工事 特記仕様書	_	E - 4	電気設備 盤類結線図	_	M - 4	平面図(改修後) ガス・蒸気配管設備	1:100			
A - 5	配置図·付近見取図	1:700	E - 5	電気設備 設備図	1:100	M - 5	平面図(既設) 給排水衛生設備	1:100			
A - 6	改修前 平面図	_				M - 6	平面図(既設) ガス・蒸気配管設備	1:100			
A - 7	改修後 平面図	_									
A - 8	撤去·処分工事 平面詳細図	1:60									
A - 9	撤去·処分工事 平面詳細図	1:60									
A - 10	改修後 平面詳細図	1:60									
A - 11	改修後 平面詳細図	1:60									
A - 12	検収室 改修工事 平面図·立面図·断面図 参考図	1:100									
A - 13	建築改修工事 各部詳細図 参考図	1:30.1:20									
A - 14	屋外設備関連工事 各部詳細図	1:100.1:30									
A - 15	屋内設備関連工事 土間はつり・復旧図	1:80									
										建築意匠図面	A - 15
										電気設備図面	E - 5
										機械設備図面	M - 6
										合 計	2 6

		⑦ 発生材の処理等	・引き渡しを要するもの (19 完成写真	台紙貼り1部(カラーサービス版)		坊水		(3.2.2)(表3.3.1~表3.4.2)
 丁 車 夕 」	ᄔᄔᇚᄊᄼᅩᅩᅩᇦᅠᇑᆕᄁᇌᄲᄵᅷᅼᄜᄷᇃᅝᄑᆂ		・特別管理産業廃棄物 有()		・アルバム1部(大きさ335mm×290mm程度、カラーサービス版)	3	工法	種 別	施工箇所
	大山田給食センター電気及び機械設備改修工事		処理方法(箇所数は外観4面各室2面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、	監督員	• P 1 B • B	- 1 · B - 2	
│ │ 工事概要	<u> </u>		・現場において再利用を図るもの()		と協議すること。	水	• P 1 B I • B	I - 1 · B I - 2	
-	~		・再生資材の利用を図るもの			24	• P 2 A • A	- 1 · A - 2	
	日容 下記の事項に拠る。		・アスファルトコンクリート塊	② 設備工事との	施工範囲			I - 1 · A I - 2	
			・セメントコンクリート塊	取合い	図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強		• P 0 D • D		
< 1 - 1 >	建築改修工事、厨房機器改修工事、空調改修工事		・建設発生木材		図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強			I - 1 · B I - 2	
	上記に伴う、撤去処分工事		・引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し、監督員へ提出すること。		自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強			I - 1 • D I - 2	
	上記に伴う、建築改修工事		○ 別渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する		駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図		· M 3 D I · M 4 D I		
	上記に伴う、電気改修工事		法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他		設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を	受ける		- 1 • D - 2	
	上記に伴う、機械改修工事		関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。		政権協品の位置、私口ではこの法則できる形工品を提出して、血自臭の不品を	X17 0°,	• M 4 C • C		
			(マニフェストA、E票の写しを提出すること。)	(21) 養生その他	 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共在			- 1 • E - 2	
< 2 - 1 >	上記に伴う、廃材処分工事				らい補修する。		• P 2 E		
		⑧ 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等				• M 4 A S • A	S - 1 · A S - 2 · A S - 3	・屋上
			品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」(平成28年版)(以下「評価名簿」という)	② 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故の発	生報告	• M 3 A S • A	S - 4 · A S - 5 · A S - 6	
			及び別記記載の資材及び見積りメーカー(参考)又はこれらと同等とする。		書を監督員に速やかに提出すること。		• P 0 A S		
			品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。				• A	S I - 1 · A S I - 2	
			また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた						
			再生資源についても利用促進を図るものとする。	2 1 外部足場	外部足場の種別 A種 ・B種 ・C種 (2.2.1)(表	2.2.1) 2 保護層領	りょう 野熱層工法の断熱を	†(P1BI、P2AI及びT1I	B I 工法) (3.3.2)(h)
			合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他		外部足場の保護シート等による養生 適用する ・適用しない	2.2.1)	材質	・発泡プラスチック保温材(JI	S A 9 5 1 1)
			の木質建材、コリア樹脂及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散の少ないもの	1/2			厚 さ(mm)	・25(両面スキン層付き、特定	プロンを含まないもの)
建築改修	多工事仕様		とする。保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散の少ないも	設 2 材料、撤去	種別 · A種 B種 · C種 · D種 · E種 (表	2.2.2)		・設ける ・設けない	
			のとする。接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の				脱気装置(P0I	•	(3.3.3)(b)(2)
1 . 共通仕様			可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発	3 既存プラインド		2.3.1)		・設ける ・設けない	
	上様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(平成28年版)」		散が少ないものとする。塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシルン、エチルバンゼンを発散しないか、	事 カーデン等の養生 	保管場所構内既存施設内		71 Add on 111		
公共建築改修 	8工事標準仕様書(平成28年版)」(以下「改標仕」)による。		発散が少ないものとする。これらの建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、そ	4 /C+088/1 km/2	ATE DIE 015		伸縮目地・アスフ		(3.3.5)(f)
】 2.特記仕様			の他什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が少ないものとする。	4 仮設間仕切り	・A種 ・B種 C種 (2.3.2)(表	2.3.1)		地 寸法(mm)25×70	
	号に 印の付いたものを適用する。	9 施工中の	接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥		合板又は石こうボードの塗装 ・行う 行わない			f(製品名)	
	った。 中の内にたものを適用する。 、 の付いたものを適用する。		接着別及び塗料の塗料にのにうては、使用方法及び塗物料を下方に管理し、適切な起深時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散し	 5 監督員事務所	・構内建物内の一部を使用する。		シート防水 工法	 種 別	施工箇所
, , ,	、 のがいたものを適用する。 いない場合は、 印の付いたものを適用する。	女主旨珪	た化学物質等を室外へ放出させること。	3 監督貝事務別	・観置する	2.4.1)		f1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)	ル 上 国 州
	Dの付いた場合は、共に適用する。		にして物具でも主力で、以及出できること。		監督職員事務所の規模(単位:㎡)			M1(SI-M1) · S-M2(SI-M2)	
	記載の() 内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該図又は当該表を示す。	 10 施丁数量調査	調査範囲 図示 ・ (1.5.2)		面積 · 10㎡程度 · 20㎡程度 · 35㎡程度 · 65㎡程度 · 100㎡程度		· S 4 S · S-M	` , , , ,	
(3,13,12,13,13,13,13,13,13,13,13,13,13,13,13,13,			調査方法 図示・		監督員事務所の仕上げ		· S 4 S I		
章 項 目	特記事項				部位等 仕上げ		· S 3 S · S-	F1(SI-F1) · S-F2(SI-F2)	
		 11 調査のための	 補修方法 図示 ・ (1.5.3)		床 合板張り又はピニール床シート張り		· S 3 S I		
1 1 適用基準等	○公共建築工事標準仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版)	破壊部分の補修			内壁・天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り		• M 4 S • S-1	M1(SI-M1) • S-M2(SI-M2)	
	○公共建築改修工事標準仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版)				屋根 装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り		• M 4 S I • S-M	3(SI-M3)	
	○建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版)	② 技能士	職種別に可能なものについては積極的に活用すること。 (1.6.2)		設けない				
舟							脱気装置・設ける	る ・設けない	
2 書類の書式等	施工体制台帳及び施工体系図の作成については、建設業法及び公共工事の入札及び契約	13 化学物質の	測定する ・測定しない (1.6.6)	6 監督員事務所	・机椅子・書棚黒板・製図板・掛け時計・温度計 (2.4	.1)(b)			
	の適正化の促進に関する法律に従ってこれを行うとともに、監督職員に提出する。(1.1.5)	濃度測定	測定対象化学物質(で示したものとする。)	の備品等	・ゴム長靴・雨カッパ・保護帽・懐中電灯	4 塗膜防z	K		
通			ホルム		・加入電話の付属電話機(請負者が本電話機を設置する場合)		工法	種別	施工箇所
事 ③ 疑義に対する 協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設		アルデヒド ベンゼン ベンゼン ()		・衣類ロッカー・冷暖房機器・消火器・湯沸器・掃除具		• P 0 X		
m m m m m m m m m m m m m m m m m m m	計図書によることが困難又は不都合な場合、並びに設計図書に記載されていない見え隠れ						• L 4 X		
	部分に不都合が認められた場合は、監督職員と協議する。 (1.1.8)		測定対象室及び測定個所数(図示・箇所)	7 危険物貯蔵所	塗料、油類等の引火性材料の貯蔵所は関係法令等に従い適切な規模、構造、設備		脱気装置・設ける	5 ・設けない	
○ 工事問/公園書	工事の着手に先立ち以下のものを作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1.2.1~1.2.3)		測定方法(パッシブ法 ・アクティブ法)		備えたものとする。尚、やむを得ず工事目的物の一部を置場として使用する場合に			√ = 4- 4-1 1	(0.0.0)(.)(0)
4 工事関係図書	工事の有手に元立ち以下のものをTF放し、監督職員の承諾を受ける。 (1.2.1~1.2.3) 1)実施工程表 2)施工計画書 3)施工図等		報告書 2部		監督職員の承諾を受ける。	,	膜防水層 (L4X) ・行う	・行わない	(3.2.6)(c)(6)
	1) 美加工住状 2) 加工計画者 3) 加工図寺 工事の記録は監督職員の指示した事項及び監督職員と協議した結果について記録を整備		公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工	8 請負者事務所	設置する	大田の1	仕上塗装 		
	する。 (1.2.4)		公共建衆以修工争係平山依首に記載されているい行列な例を100上/広は当該教品の指定上 法による。	0 胡貝白事物別			製笠木 部材の種類		(3.9.2)(c)(表3.9.1)
	(1.2.4)	07上/云			,	2.4.3)		・押出300形 ・押出350所	, , , , , , , ,
り (5) 工事現場管理	設計図書に適合する工事目的物を完成させるために、施工管理体制を確立し品質、工程		低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械をできる			·-·	・板材折曲げ型	N PER 5 5 0 N	//
	工程、安全等の施工管理を行う。 (1.3.1)		限り使用する。	 9 材料倉庫	2 0 ㎡程度			n、板厚 2.0mm ・ mm、	固定間隔 mm)
	・施工管理技術者 適用する (1.3.2)						表面処理 A - 1		(3.9.2)(d)
	・電気保安技術者 適用する (1.3.3)	16 排出がス対策	排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をできる	10 交通誘導員	・配置する (日 × 人 = 人) ・配置しない				
		建設機械の使用	限り使用する。			⑦ シーリング F	月材料		
⑥ 施工条件	進捗条件は下記のとおりとするが、現場の実情に応じて変更することもある。			11 仮設便所	・水洗式:小便器、大便器×各1棟		工法材	種	施工箇所
	・契約日から 月 日 ~ 月 日 仮設工事(パリケード、事務所等設置)						・S R - 1 ジリコーン	系	
		① 工事写真	着工時 - 敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。(E版1部)	① 工事用水	構内既存の施設 ○利用できる(○有償 ・無償) 利用できない		OS R - 2 9/J⊐-7		
	○ 月 日 ~ 月 日 各改修工事(撤去・仕上・設備工事)		工事中 - 進捗状況の撮影記録をすると共に、特に竣工後、隠べい又は埋設される部分				○ M S - 2 変成シ		
			は被写体に巾広テープを添えて撮影する。(E版1部)	① 工事用電力	構内既存の施設 ○利用できる(○有償 ・無償) 利用できない		・ P S - 2 ポリサル		
	●監督員と協議し決定する。 (1.3.5)						・ P U - 2 ポリウレ		
	施工可能日 一番により ・土、日曜日、祝祭日施工	18 完成図	作成する (完成図 ・保全に関する資料) (1.8.2)	14 その他	・硬化型着色ヒル石吹付は、アスベスト含有調査(3 検体採取)を実施し含有が認	め	・A C - 1 アクリル系	<u>k</u>	
	施工可能時間帯		完成図作図範囲(すべての図面)		られる場合は、除去工事を行い結果を監督職員に報告すること。	_		#=##### ====	
	部位別の施工順序 一指定なし 一本 大学		完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。		・便所、湯沸室、保健室等の石綿セメント板は、非飛散性アスベスト含有。(手壊しとす	· II I		簡易接着性試験・引張接着性語	式験 (3.7.8)
	工事車両の駐車場 指定なし ①敷地内(図示)		CADによる作成 (要・不要)ただし、作成できない場合は監督員との協議による。		・アスベスト含有成型板等の撤去は「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」	を 		行わない	
 	屋内作業は基本的に夏休み(平成29年7月21日~平成29年8月20日)に行う		C A D データの提出 (要 ・不要) ただし、提出できない場合は監督員との協議による。		厳守すること。	PROJECT		PROJECT NO.	
						大山田給食センター電	気及び機械設備改修		
						DRAWING		SCALE	
						改修工事 特記仕様書			
						APPROVED CHECKE	ED DRAWN	DATE	-
								'17. 2.	
								DRAWING NO.	-

A -1(15)

8 シーリング改修	・シーリング充てん工法 (3.7.4)	シール工法 (4.3.6)(4.4.7)		形状寸	法き	じ うわぐすり	色			既存塗膜等の除去及び下地処理			(4.6.3)
	・シーリング再充てん工法 (3.7.5)				• 磁器	・施釉				工法	- AΠ IF	理範囲	
上がり作業会													
	・拡幅シーリング再充てん工法(拡幅幅 mm、拡幅深さ mm) (3.7.6)	・可とう性エポキシ樹脂シール			・せっ	・無釉	・特注品			サンダー工法			
	・ブリッジ工法 (3.7.7)	充てん工法 (4.3.7)(4.4.8)					(4 = 40())			・高圧水洗工法			
		種類 ・エポキシ樹脂モルタル充てん	4 目地改修工法	目地ひび割れ改修工法			(4.5.16(a))			・塗膜はく離剤工法			
				 伸縮目地改修工法			(4.5.16(b))			・水洗い工法			
					131		(4.0.10(b))						
4 1 施工数量	行う・行わない	・ポリマーセメントモルタル充てん		目地 伸縮目地(位置		x)				下地調整 (下地調整塗材 ・ポリ゙	マーセメントモルタル ・ ドケンド 井が	仕上塗材王材)	
	・調査範囲 全面 ・外壁(吹付タイル・タイル貼部分)	モルタル塗替え工法 (4.4.9)		検査 シーリング接着性	生試験 ・行う(・簡:	易接着性試験) ・行わ	ない			佐屋仏 し冷せの し冷せのほど			(= 4.0.4)
外	・調査項目 ひび割れ部(幅0.2mm、0.2mm~1.0 mm、1.0mm以上)	アンカービ ンニング 部分エボキシ樹脂注入工法 (4.4.10)(図4.4.1)								複層仕上塗材の上塗材の種類			(表4.2.4)
	はがれ及びはく落部分	施工箇所		 材料			(4.2.2)(a)			樹脂種類溶媒種類		外 観	
壁		ガビ 工 塩 7/1					, , , ,			・溶剤系	・つやあり ・つも	やなし ・メタ	/リック
改	浮き部	一般部分		エポキシ樹脂 JIS	S A 6 0 2 4 (建築	補修用注入エポキシ樹脂)			・アクリル系・弱溶剤系	・つやあり・つも	th to 1.	
• • • • • • • • • • • • • • • • • •	・調査方法 目視及びミリスケール等	CdbXiv		・低米	站度形 · 中粘度形								,
修	足場 ・枠組 ・ゴンドラ			仮止k	カシール材等はエポキ・	シ樹脂製造所の指定する	製品で既存及び新			・水系	・つやあり ・つも	やなし	
-		指定部分					40H CW117 /2 0 991			・シリカ系・水系	・つやあり		
工	・報告書 3 部監督員に提出				莫に支障のないもの					・溶剤系	・つやあり・つも	やなし ・メタ	 ノリック
	(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)	狭幅部		可とう性エポキシ樹脂						・ポリウレタン系 ・弱溶剤系	・つやあり・つか		
事	調査業者が料メーカーの指定する施工業者とする			パテ状エポキシ樹脂									
2 改修工法の種類	(4.1.4)	アンカーピソニンケ 全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.11)(図4.4.2)		 エポキシ樹脂モルタル						・水系	つやあり ・つも	やなし	
										・アクリル・溶剤系	・つやあり ・つも	やなし ・メタ	/リック
	外壁 種類 改修工法	施工箇所		ポリマーセメントモルタ	タル					シリコン系・水系	・つやあり・つか		
	・コンクリート打放し ・ひび割れ部 ・樹脂注入工法	40 ÷0 ()		ポリマーセメントスラ!	J –								
	仕上げ 軒裏 Uカットシール材充てん工法	一般部分		タイル貼替用エポキシ植	制脂					・溶剤系	・つやあり ・つも	やなし ・メタ	リック
					-31314					・水系	・つやあり ・つも	やなし	
	・シール工法	指定部分		磁器質タイル						(注)つやなし及びメタリックは、『	 可とう形複層塗材及び防		には適用しない
	・欠損部 充てん工法			せっ器質タイル									
	庇・その他・コンクリート打放し面改修工法(ニチエー吉田若返りシステム程度)	狭幅部	5 仕上塗材	建物内部に使用するユリス	ア樹脂等を用いた塗料の	のホルムアルデヒドの発	散量						
	・		仕上げ	F · F					1 改修工法	・かぶせ工法(・カバー工法 ・持出	出し工法 ・ノンシール	レ工法)	(5.1.3)
		THE PERSON ATTEMPT AND ADDRESS OF THE				/A 0 0 / / / ·	1/201/2001	5		・撤去工法 (はつり工法 ・引抜	友き工法)		
	仕上げ 外壁 リカットシール材充てん工法	アンカーピ ンニング 全面ボ リマーセメントスラリー注入工法 (4.4.12)(図4.4.2)				(4.2.2 (j))(表4.2.		7=					
	・シール工法	施工箇所		種類	呼び名	仕上形状	工法	建	2 見本の製作	 ・製作する ・製作しない			/= 4 = 1
	・欠損部 充てん工法				・外装薄塗材Si	・砂壁状			2 見本の製作	・製作する ・製作しない			(5.1.5)
		一般部分					・吹付け						
	・モルタル塗替え工法				・可とう形	・ゆず肌状		2女	3 ブラインド	・再使用する 再使用しない			(5.1.6(c))
		指定部分			外装薄塗材Si	・ゆず肌状			カーテンホ・ックス等				((- / /
	・浮き部 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	相定部力				・さざ波状		修	カーナノか ツソス寺				
	・アンカーと、ソニング、全面エボ・キシ樹脂注入工法	狭幅部		・薄付け仕上塗材		・砂壁状							
		2大神山と					・吹付け	I	4 アルミニウム製建具	外部に面するアルミニウム製建具の性	生能等級	(5	5.2.2)(表5.2.1)
	・アンカーじ、ソニング、全面ポリマーセメントスラリー注入工法			JIS A 6909	・外装薄塗材 E	・ゆず肌状				種別 耐風圧性 気	記密性 水密性	借	考
	注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.13)(図4.4.3)		(建築用仕上塗材)		・平たん状		争			,411		
	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	施工箇所				・凹凸状	・こて			トA種 S - 4 A - 3	3 W - 4	枠の見込み可	寸法 70mm
		1,15 1 11								· B種 S - 5		1111702217	,,,,
	・注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	一般部分 範囲1.0m2以下の場合(@330*330)				・ゆず肌状	・ローラー			· C種 S - 6 A - 4	4 W - 5	枠の見込みす	寸法 100mm
	・充てん工法					・さざ波状							
	・モルタル塗替え工法						・吹付け						
	・タイル貼り ・ひび割れ部 ・樹脂注入工法	指定部分 範囲1.0m2以下の場合(@250*250)				・着色骨材砂壁状	・こて			種類遮音	性	類	断熱性
		<u> </u>				7小 日本 1上				・防音ドアセット	・断熱ドアも	セット	
	仕上げ外壁 リカットシール材充てん工法	狭幅部 長さ1.0m、巾0.2mの場合 (@200)				・砂壁状	・吹付け			・防音サッシ	・断熱サッシ	シ	
	・シール工法	(ユニシポンドCPアンカ-ピン部分エポキシ樹脂注入工法程度)			・可とう形	・ゆず肌状							
	・欠損部 充てん工法	注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.14)(図4.4.4)			外装薄塗材E	・平たん状							
	・モルタル塗替え工法	施工箇所				・凹凸状	・こて			種類 面内:	內変形追随性		
		771 LEG 1771								・耐震ドアセット			
	・浮き部 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	一般部分				・ゆず肌状	・ローラー						
	・アンカーと、ソニング、全面エボキシ樹脂注入工法	DAMP / J				・さざ波状				7117-417-17-41	のままが理の話別		(= 5.0.0)
	・アンカービ、ソニング、全面ポリマーセメントスラリー注入工法				・防水形	・ゆず肌状				アルミニウム及びアルミニウム合金の			(表5.2.2)
	・注入口付アンカービンニング部分エボキシ樹脂注入工法	指定部分			外装薄塗材 E	 ・さざ波状	・ローラー			種 別 表面	処 理	規格番号	種 類
					/					・A - 1 無着色陽極酸化皮	え膜		
	・注入口付アンカーピンニング全面エボキシ樹脂注入工法	狭幅部				・凹凸状	・吹付け			・A - 2 着色陽極酸化皮膜		JIS H8601	A A 1 5
	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法				・外装薄塗材 S	・砂壁状	・吹付け						
	・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.15)(図4.4.4)				・吹放し				B - 1 無着色陽極酸化塗	J	JIS H8602	В
	タイル部分貼替え工法	施工箇所				ス・凸部処理	・吹付け			・B - 2 着色陽極酸化塗装	複合皮膜		
										・C - 1 無着色陽極酸化皮	¿膜		
	・タイル貼替え工法	一般部分			・外装厚塗材 C	タ・平たん状				・C - 2 着色陽極酸化皮膜	Į	JIS H8601	A A 6
	・目地 目地ひび割れ部改修工法	MANUT PA		・厚付け仕上塗材		╜│・凹凸状						110 114004	
	・伸縮目地改修工法			JIS A 6909		コー・ひき起し	・こて			・D 化成皮膜の上に塗	i z x	JIS H4001	
	・塗り仕上げ・吹替部・薄付け仕上塗材塗り	指定部分		(建築用仕上塗材)		状し・掻き落とし							
				(5 網戸	防虫網の材質			(5.2.3(e))
	・厚付け仕上塗材塗り					スー・吹放し	・吹付け			・合成樹脂製・ガラス繊維入り合成	成樹脂製 ・マテンル	ス (SUS316) 制	. , ,
	複層仕上塗材塗り	タイル部分貼替え工法 (4.5.7)			・外装厚塗材 S i	タ・凸部処理						. (- 500 10) 108	
	・各種塗料塗り	種類 ・ポリマーセメントモルタルによる貼替え			・外装厚塗材 E	ッ・平たん状	・こて			網目			
	・マスチック塗材塗り	・エボーキシ樹脂による貼替え				リコー・凹凸状				・16メッシュ ・18メッシュ			
	「・マステック至何至り					-	1-7-						
 3 改修工法等	樹脂注入工法 (4.3.4)(4.4.5)(4.5.5)	貼付用モルタル及び目地材の既成調合材料				大 ・ひき起し			 6 鋼製建具	 鋼製建具の性能等級		/ 5	5.3.2)(表5.3.1)
		・使用する・・使用しない			・複層塗材CE				→ 判状柱 尺		= +		
	種類 ・自動式低圧球 [*] キシ樹脂注入 注入量()注入孔間隔()	タイル貼替え工法 (4.5.8)			・可とう形	 ゆず肌状	ローラー			種類	気密性		く密製
	・手動式エポキシ樹脂注入 注入量()注入孔間隔()					אוומ פיציין אווא	4-3-			・簡易気密型ドアセット	A - 3		W - 1
	·機械式Ix* 抄樹脂注入 注入量 ()注入孔間隔 ()	種類 (表4.5.3)			複層塗材 C E						_		
	検査・行う・行わない	タイルの種類 タイル寸法 工 法 塗り厚(mm)		・複層仕上塗材	・複層塗材Si						5性 #	類	断熱性
	1XE 11 / 1112/64 /	・密着貼り 5 ~ 8		JIS A 6909	・複層塗材 E	D +=+==							四八代十
	Uカットシール材充てん工法 (4.3.5)	・改良積上げ貼り 4 ~ 7		(建築用仕上塗材)	・複層塗材RE	・凸部処理	・吹付け			・防音ドアセット	・断熱ドアセ	セット	
		- │		(是表加压工業物)						・防音サッシ	・断熱サッシ	シ	
	種類 ・シーリング用材充てん(・PU-2 ・)	- 改良圧着貼り 下地側4~6			・複層塗材RS								
	・可とう性エポキシ樹脂充てん平滑仕上(巾10mm*深さ10mm以上)	タイル側 3 ~ 4			・防水形複層塗材CE					4 ₹ ₹ ₹ 7 	亦形泊塘地		
	(日本樹脂施工協同組合程度)	・25mm角を超え小口タイル未満 ・マスク貼り 3 ~ 4			・防水形複層塗材 E	・凹凸模様	・吹付け				7変形追随性		
	シーリング用材のうえにポリマーセメントモルタル充てん	・ユニットタイル ・25mm角以下 ・Eサ 1/9/4/ル貼り 3 ~ 5			・防水形複層塗材RE					・耐震ドアセット			
		- ZJIIIII用以下 · TV 17771IV和リ 3 ~ 5			MMTV技層空例KE	-							
	・行う・行わない						PROJECT	<u> </u>		PROJECT	T NO		
									L				
							大山	出給食	センター電気及び	び機械設備改修工事			
							DRAWIN	G		SCALE			
								7	收修工事 特記	.什樣書			
I							APPROV	ED	CHECKED	DRAWN DATE			

'17. 2.

A - 2

7 鋼製軽量建具	(5.4.2)	14 ガラス	板ガラス (5.12.2(a))		代用樹種の使用 ・禁止する ・禁止しない (6.5.2(a)	3))	・視覚障害者用床タイル		(6.8.2(c)(2))
	種 類 気密性		厚き備考		集成材 (6.5.2(b)	c))	種 類	形 状	横 考
	・簡易気密型ドアセット A - 3		・フロート板ガラス 5 mm		ホルムアルデヒドの放散量				
			・型板ガラス 4 mm		F ·F				
	種類 遮音性 種類 断熱性		・網入り板ガラス 6.8mm ひし網 ・角網						
	・防音ドアセット ・断熱ドアセット		・線入り板ガラス		構造用集成材				
							7.0/1		(0.0.0(.)(0))
	・防音サッシ		材料板ガラスの種類及び厚さ等		部材名称 品 名 強度等級 材面の品質 樹種名 接着性		・その他		(6.8.2(c)(3))
			・合わせガラス				種類	性能	厚さ備考
	種類面内変形追随性		・強化ガラス 5 mm (学校向け)						
	・耐震ドアセット		・熱線吸収板ガラス						
			・複層ガラス						
 8 ステンレス製建具	(5.5.2)		・熱線反射ガラス 反射皮膜 ・内面 ・外面						
O NOVARCES					造作用集成材		・ビール梔子		(6 8 2(d))
			・倍強度ガラス				・ビニル幅木		(6.8.2(d))
	・簡易気密型ドアセット A - 3 W - 1				部材名称 等 級 単 材 の 樹 種 厚	<u> </u>	厚さ高さ		考
		15 ガラスとめ材	(5.12.2(b))						
	種類 遮音性 種類 断熱性		建具の種類種類類						
	・防音ドアセット・断熱ドアセット		グレイジングチャンネル形						
	・防音サッシ ・断熱サッシ		・ガスケット (枠見込み70mmの引違い、片引き障子の場合)			 			
	- MIMO 90								(0.0.0(.))
			アルミニウム製・				・ゴム床タイル		(6.8.2(e))
	種類面内変形追随性		シーリング材				色板	原 さ	備考
	・耐震ドアセット		J-92949		化粧ばり造作用集成材				
			鋼製 ・シーリング材 ・ガスケット		表面仕上材の化粧単板の樹種() 厚さ()				
	曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ (5.5.5)		ステンレス製・シーリング材・		ホルムアルデヒドの放散量				
			板ガラスをはめ込む溝の大きさ		F · F				
9 建具用金物	金物の見掛かり部等の材質 (5.6.2)		表5.12.1による(枠見込み70㎜のアルミニウム製建具の場合(強化、合わせ、倍強度ガラ		床張り用合板		工法		
	改標仕表5.6.1(その1)(その2)による		スを用いる場合を除く))		厚さ5.5mm合板の接着程度 (下地		(6.8.3(a))
	マスターキー 製作する ・製作しない (5.6.4)				防腐処理 ・施工する() ・施工しない		・モルタル下地 ・木下均	地・その他()
	, ,			\dashv	防ぎ処理 ・施工する ・施工しない		ビニル床シート張り		(6.8.3(b))
40 054 107	(5.7.0)	4 60 = 7.7			NET O'SVI			` *	(0.0.3(b))
10 自動ドア	開閉方法 (5.7.3)	6 1 一般事項	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 (6.1.3(b))				熱溶接工法・適用する	・週用しない	
開閉装置	・スライディングドア (・片引き ・引分け)		改修部分 改修 範 囲	(5) 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーなどの種類 (6.7.3)(表6.	.1)			
	・スイングドア (・片開き ・両開き)	N	・天井 図示による		・45形	⑧ 合成樹脂塗り床	ユリア樹脂等を用いた塗料の	のホルムアルデヒドの発散量	
	スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (5.7.2)(b)(1)	类	・ 壁 図示による		6 5 形		F · F		
	改共仕表5.7.1による・(・床 図示による		⊙9 0 ₩		弾性ウレタン涂り床の仕上!	げ 種類 行程	(6.10.2(b))(表6.10.3)
		改	IN ENTIRE S						(0.10.2(8))(420.10.0)
	スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (5.7.2)(b)(2)				・100形		平滑仕上げ・防滑仕」		
	改標仕表5.7.2による ・(修	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 (6.1.3(c))				アクリル系塗床の仕上げ種類	,	0.3(c))(表6.10.4~6.10.7)
	センサの種類 (5.7.3)(表5.7.3)	T	(図示による)	6 軽量鉄骨	野縁等の種類 (6.6.2)(表6.	.1)	・薄膜流し展べ仕上げ	・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂	旨ENタル仕上げ ①防滑仕上げ
	・マットスイッチ ・電子(電磁)マットスイッチ	_	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 (6.1.3(f))	天井下地	部 材 種 類 備 考				
	・光線(反射)スイッチ・・音波スイッチ	事	・行う(図示による)		・シングル野縁 ・19形 ・25形 屋外25形	9 フローリング・張り	ホルムアルデヒドの発散量		
	・ 熟線スイッチ ・ 光電スイッチ ・ タッチスイッチ		・行わない		・ダブル野縁 ・19形・25形		F · F		
	・ペダルスイッチ・押しボタンスイッチ	2 既存床撤去、	既存床仕上げ材の除去等 (6.2.2(a)(1))		- 野縁受け - 19形 - 25形		・モルタル埋込み工法		(6.11.4)(表6.11.1)
	凍結防止措置 ・行う ・行わない (5.7.3(f))	下地補修	浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去				フローリングブロック(単位	½:mm)	
			行う ・行わない		既存埋込みインサート (6.6.4(a)	1))	樹 種 厚 さ	大きさ	備考
11 重量シャッター	種類 (5.9.2)		 合成樹脂塗り床材の除去等 (6.2.2(a)(2))		・使用する(引張試験) 使用しない		なら 15	303×303 辺材部分1	には、防虫処理を行う。
	・一般重量シャッター・外壁用防火シャッター・屋内用防火シャッター・防煙シャッター		・機械的除去工法・目荒工法					12.134.73	
					1144				
	耐風圧強度		改修後の床の清掃範囲 (6.2.2(c))	フ ピニル床シート、	材料 (6.4	.2)			
	.50 .80 .120		施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲・()	L [*] ニル/末タイル	・ビニル床シート 【JIS A5705(ビニル系床材)】 (6.8.2)	a))	・釘留め工法		(6.11.5)(表6.11.2)(表6.11.3)
	開閉機能 (5.9.2)(表5.9.1)			及び	・防滑性ビニル床シ - ト		材料	種別	種 別 樹 種
	・上部電動式(手動併用)・上部手動式	3 既存壁撤去、	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 (6.3.2)	コ・ム床タイル張り	種類の記号 機能・場所 厚さ 備 考		・フローリングボード (根)	太張用)	洋材
	シャッターケース	- 下地補修					・複合フローリング (根)	表表用)・1種	· A種 ·
		1 3 11019							
	・設置する ・設置しない		表面仕上げ ・A種 B種 ・C種 (6.5.1(c))(表6.5.1)			─	・無垢フローリング (根	-	・B種
		4 木下地等	 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) (6.5.2(a)(1))(表6.5.2)					・3種	C 種
12 軽量シャッター	開閉形式 (5.10.2)(表5.10.1)	. , 5.3	部材、下地材 種 別						
	・上部電動式(手動併用)・手動式				・ビニル床タイル 【 J I S A 5 7 0 5 (ビニル系床材) 】 (6.8.2	b))	・接着工法	(6.11.6)(表6.11.1)(表6.11.2)(表6.11.4)
	耐風圧強度		構造材、下地材 A種・B種		種 類 厚さ 備 考		材種	. 樹種	
	.50 .65 .80		造作材 A種 · B種				・フローリングボード()	直張用)なら	
	スラットの材質及び形状		構造材及び下地材の等級 (6.5.2(a)(2)())			 	・フローリングブロック()	·	
						─			
	・材質 (部材名称 等 級 部材名称 等 級 部材名称 等 級				・複合 1 種フローリング (
	・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形		土台 小節 野縁 小節				・複合 2 種フローリング (直張用)	
10 +-11*1*1*=	刑二十八八寸地 t转		頭繋ぎ 小節 間柱 小節		・帯電防止床シート (6.8.2(c)	1))	・複合3種フローリング(直張用)	
13 オーバ・ーヘット・ト・ア	型式及び機構 (5.11.2)		間仕切 小節 半柱 上小(見掛り)		種類性能厚さ備	=	材種	. 樹種	厚さ、大きさ
	セクション材料		胴縁 小節 柱 上小(見掛り)				・モザイクパーケット()		 . .
	・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ					 			
	耐風圧強度		造作材の等級 (6.5.2(a)(2)())(表6.5.3)			─	\$ \$ ¥+		
	.50 .75 .100 .125		使用箇所 部 材 名 称 等 級				塗装		(6.11.7(b))
	開閉方式		生地のまま A種(ただし、見掛かり面)				・ウレタン樹脂ワニス塗り	Ĵ (1 液形、B 種)	
			・		・帯電防止床タイル (6.8.2(c)	1))	水性ウレタンクリヤ -	(床用)塗のうえワックス塗り)
	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式		又は ・B種		種類性能厚さ備	5	(ロックへ゜イント水性ア-ルネ-ト程度	度)	
	収納形式		透明塗料塗り A種				・生地のままワックス塗り		
	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形		の場合・B種			 	ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	
	ガイドレール (5.11.3)		A種						
	・溶融亜鉛めっき鋼板・ステンレス鋼板		不透明塗料塗りの場合 ・B種			10 畳敷き	種別 A種 · B種 ·	C種 · D種	(6.12.2)(表6.12.1)
						PROJECT		PROJECT NO.	
							¢₩₩₩₩₽₽₽₩₽₽₽₩₽₽	FROJECT NO.	
						大山田給食センター電気及び		<u> </u>	
						DRAWING		SCALE	
						改修工事 特記係	土様書		
						APPROVED CHECKED		DATE	
								17. 2.	
						I	i i	1 11. 4.	

DRAWING NO.

A - 3

11 カーペット	敷き 織じゅうたん		(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)		ホルムアルデヒドの発散量 F ・F	4 合成樹脂調合		2) 8 1 ステンレスの表	(d	(8.1)
11 22-1491	種別 パイル形状	帯電性	品質の程度	13 至純成り	(6.14.2)	ペイント塗り		´ 仕上げ	種類施工箇所	
			四長が往及				,	<u>"</u> 金	OHL程度 見え掛かり全て	
	・A種 ・カットパイル	人体耐電圧			施工箇所品質の程度 防火種別	(SOP)	·下 地 種 別	—	·No.2B程度 ·鏡面仕上げ	
	・B種 ・ループパイル	3 K V 以下			1-1 · 1-2 · 5-1		·木部 · A種 B種 · C種	— II_I	数は 江上17	
	・C種 ・カット、ループ併	用 ・			• 1-1 1-2 • 5-1		·鋼鉄面 · A種 B種 · C種	─ +		
			1.04************		· 1-1 · 1-2 5-1		・亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 ・C種	事		
	品質の程度欄に記載した商品名	は、品質の程度を示すため	0の参考商品名である。		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。	5 フタル酸樹脂	種別 (7.5.2~7.5.3)(表7.5.1~7.5.	2)		
	タフテッドカーペット		(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)	14 刊別塗り	既成目地材 (6.15.3)	エナメル塗り	· 下 地 種 別			
	パイル形状・カット パイル長さ	(mm) 帯電性	工法品質の程度		・使用する(形状	(FE)	·木部 · A種 B種 · C種		+	
	・カットパイル・	人体耐電圧	全面接着工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				・鉄鋼面及び亜鉛めっき面 ・A種 B種 ・C種	── 9 1 盛り土に 	·A種 B種 ·C種 ·D種	(9.1)
	・ループパイル	3 K V以下	・グリッパー工法	⑤ タイル貼	伸縮調整目地 (6.16.2)					
	· レベルル−プパイル、				位置・図示	6 アクリル樹脂系	種別 ・A種 B種 (7.6.2)(表7.6.	1) 2 遮断層及び凍上		(9.2)
	ループ。併用				タイルの種類 (6.16.3)	非水分散形塗料		グログログ	・凍上抑制層 再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切り込み砂利 ・砂	
					NHX き じ うわぐすり 役物 色 品質の					
	ー 品質の程度欄に記載した商品名I	 は、品質の程度を示すため	」 りの参考商品名である。		寸法(mm) 磁器 ステアゲト 陶器 施釉 無釉 あり なし 標準 特注 程 度	7 アクリル樹脂	下地調整 · R A種 · R B種 · R C種 (7.7.2)(表7.7.		添加材料による安定処理	(9.3)
					設備ライニング 100 x 100 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	エナメル塗り	種別 ・A種 B種 ・C種 (7.7.3)(表7.7.	1) 事	種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()	
	ニードルパンチカーペット		(6.9.2)(d)(2)			(A E)			・	
	厚さ(mm) 帯 電								,	
	人体耐電圧3KV	以下				8 2 液形ポリウレタン	種別 (7.8.2~7.8.4)(表7.8.1~7.8.	´ 4 路床工の	行う(乱した土・乱さない土)	(9.4)
	•					エナメル塗り	鉄鋼面 A種 · B種	支持力比試験		
					品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。	(2-UE)	亜鉛めっき面 A種・B種			
	タイルカーペット		(6.9.2)(表6.9.2)		試験張り、見本焼き等 (6.16.3)(a)(3)		コンクリート及び押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種	5 路床締固め度の 試験	י כֿדוֹ	(9.5)
	パイル形状 寸法(m	m) 総厚さ(mm) 電	電気抵抗() 品質の程度		試験張り ・行う 行わない			l Harrist		
	・カットパイル 500×500	6.5	適用しない・		見本焼き ・行う 行わない	9 アクリルシリコン樹脂	種別 (7.9.2~7.9.4)(表7.9.1~7.9.	3) 6 路盤材料	○ 再生クラッシャラン(RC - 40)	(9.6)
	ループパイル	• •			工法 (6.16.1)(表6.16.6)(表6.16.7)	エナメル塗り			クラッシャラン(C - 40)又はクラッシャランスラグ(CS - 40)	
	品質の程度欄に記載した商品名	は、品質の程度を示すため	めの参考商品名である。		・積上げ張り	(2-ASE)	亜鉛めっき面 ・A種 ・B種		透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの	
	敷き方		(6.9.3)(d)(2)		○壁タイル接着剤張り		コンクリート及び押出成形セメント板面・A種・B種	7 アスファルト舗装	į į	(9.7.1)
	平場市松敷き	・模様流し・							舗装の種類 車道部の基層 カラー舗装の	
	階段部分・市松敷き	模様流し・・		16 断熱材	ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムア	10 常温乾燥形	種別 (7.10.2~7.10.4)(表7.10.1~7.10.	3)	アスファルト舗装 無し・有け 顔料混入加熱アスファルト混 ・カラー舗装 無し・有け	E 古初
0 5					ルデヒドの発散量	ふっ素樹脂	鉄鋼面 · A種 · B種		カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)	
① せっこうボード、		1515 515	(6.13.2)(表6.13.1)		F • F	エナメル塗り	亜鉛めっき面 ・A種 ・B種		アスファルト 再生アスファルト · ストレートアスファルト 加熱アスファルト混合物の種類	(0.7.2)
その他ボード及び	名称 種 類	規格、区分等	厚 さ (mm)		断熱材打込み工法 (9.5.2)	(2-FUE)	コンクリート及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種		加熱アスファルト混合物の種類 区分 一般地域 ・寒冷地域	(9.7.2)
合板張り			・9.5(準不燃)		種類種別厚さ(mm)施工箇所				表層 密粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(
			壁 12.5(不燃)		・ビーズ法がリスチレンフォーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		種別 ・ A種 B種 ・ C種 (7.11.2)(表7.11.	1)	・細粒度アスファルト混合物(13)・細粒度ギャップアスファルト混	混合物(13F)
	・せっこうボード(GB-R)		・15.0(不燃)		・押出法ポリスチレンフォーム ・保温板 2 種 b ・ 2 5 ・	エマルシ・ョンへ・イント塗り			基層 ・粗粒度アスファルト混合物(20) シールコート 行わない・行う(施工範囲)	(9.7.3)
	U &		9.5(準不燃)		・保温板 3 種 b ・ 2 5 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(EP-G)	(屋内 鉄部 程度 木部 程度)		アスファルト混合物の抽出試験 行わない 行う	(9.7.4)
			天井 ・12.5(不燃)		TESSAL N. D	(A)	15-DI 15- DIE 015-			
	C		・15.0(不燃)		・硬質りタンフォーム		7 種別 ・A種 B種 ・C種 (7.12.2)(表7.12.	1)		
			12.5(本然)		・フェノールフォーム 上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。	v° イント塗り	しみ止め 下塗りに先立ち水性ショラ・処理を行う			
	ボ		・12.5(学不然)			(EP)	(屋内 RC、モルタル、ボ・ド面等 程度)			
	ド・せっこうラスボード(GB-L)		9.5		断熱材現場発泡工法 (9.5.3) 難燃性 厚さ(mm) 施工箇所	 13 多彩模様	種別 (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.	2) 維		
	製・不燃積層せっこうが・ド	模様なし	9.5(不燃)		************************************		(7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.1)(表7.13.1)) <u> </u>		
	日 日 日 日 日 日 (GB-NC)		9.5(不燃)		・ 3級 ・ 部分的に後張りとしなければならない箇所		鉄鋼面及び亜鉛めっき面 ・A種 B種			
	(05-110)		9.5(不燃)		・ 3 歳 ・	(EF-W)	対判四次の出対のプロロ ・ 名性 日性	事		
	・化粧せっこうボード(GB-D)	普通・木目模様	9.5(準不燃) ・12.5(不燃)				種別 (7.14.2)(表7.14.	1)		
	・ロックウール吸音ボード(RW-B)	1 号	• 2 5			コスルジ・ョン模様	· A種 B種 · C - 1種 · C - 2種 · C - 3種	''		
	・ グ ラスウール吸音ボード (GW-B)	2号 32K	・25ガラスクロス包		THOMALITIES, TOLENTE ELECTION C 9 00	塗料塗り	八寸里 5寸里 と 1寸里 と 2寸里 と 5寸里			
	吸	普通	・9.0(不燃) ・12.0	 17 接着剤	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量	(EP-T)				
	音 ・ロックウール化粧吸音(DW)	内部用	・12.0(不燃)・	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	F • F					
	材	普通	・9.0(不燃)			15 ウレタン樹脂	種別 (7.15.2)(表7.15.	1)		
	 	軒天用 立体模様	・12.0(不燃)・		建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量	ワニス塗り	木部 ・A種 B種 ・既設床面サンダ-掛けのうえ、3回塗り			
	繊維強化・0.8けい酸カルシウム板		6.0	'	F • F (7.1.3)(a)	(UC)	無黄変型水性1液外外樹脂塗料(屋内床 程度)			
	セメント (0.8KF)			塗	屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)					
		・なら	化粧単板	 装	・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)		種別 (7.16.2)(表7.16.	1)		
	· 天然木化粧合板	・しおじ	0.3未満 ・	2 下地調整	種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)	(CL)	木部 ・A種 B種			
	4+T4-04C		板 4.2 ・	^{CX}	下 地 種 別	4 4 4 4 5 4 4 5	(E.D.)			
	特殊合板	ラワン	9.0	修	·木部 · R A 種 R B 種 · R C 種	17 オイルステイン塗り	種別 (7.17.2)(表7.17.	1)		
					・鉄鋼面 ・RA種 RB種 ・RC種	(05)	木部			
					・亜鉛めっき面 ・RA種 RB種 ・RC種					
	・シナベニヤ	1類(水廻り)	5.5・9.0(体育館)	事	・モルタル面、プラスター面 ・RA種 RB種 ・RC種	18 屋内水糸塗料 	種別(既存塗膜がSOP、VP塗等をEP-G塗に塗替える場合) (7.18.			
	直仕上(塗装他)	2類(一般部)	・有孔 (寒冷紗裏貼品)		・コンクリート、ALCパネル面 ・RA種 RB種 ・RC種		木 部 ・A種 B種 ・C種 (表7.18. 鉄鋼面 ・A種 B種 ・C種 (表7.18.	·		
	難燃合板 ・ ラワンベニヤ	1類(水廻り)	5.5 • 12.0		・コンクリート、押出成形セメント板面 ・RA種 RB種 ・RC種			2)		
		2類(一般部)			・せっこうボード、その他ボード面 ・RA種 RB種 ・RC種		その他 R C 、モルタル、石膏ボ - ド面下地等の塗替え及び新規 (11節 12節 ・14節)を適用とする			
	・パーティクルボード				水性シ-ラ-・変性エポキシ樹脂プライマ-		(11的 12的 14的)を適力でする			
				3 錆止め塗料塗	D 塗料種別 (7.3.2)(表7.3.1)	19 水性ステイン・水性	種別			
					鉄鋼面錆止め塗料 A種(屋外、屋内) ・B種(屋内) ・C種(屋内)	ウレタンクリヤ-塗り	木部 汚れ・付着物除去のうえ、水性ステイン 1 回、水性ウレタンウリヤ-3回塗り			
	合板類、MDF及びパーティクルを	ボードのホルムアルデヒト	での発散量		JIS K 5625	(SUC)	顔料系木部着色材 (屋内外 程度)			
	F · F				錆止め塗料塗り種別 (7.3.3)(表7.3.3~7.3.4)		無黄变型水性1液外92樹脂塗料(屋内外 程度)			
	遮音シール材		(6.13.2)(h)		鉄鋼面 ・A種 ・B種 C種					
	・適用する(・アクリル系シー)	Jング材 ・ジョイントコ 	コンパウンド) ・適用しない		亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 C種	20 打放し保護材	・塗布 2回(程度)			
								PROJECT	PROJECT NO.	
									電気及び機械設備改修工事	
								DRAWING	SCALE	
									事特記仕様書	
								APPROVED CHECK		
									'17. 2.	

DRAWING NO.

A - 4





